

**JENESYS2020 日ブルネイ・オンライン交流
(車検制度)の記録**

1. 概要

【目的】ブルネイの車検制度を所掌する機関・部署で働く行政官が、日本の車検制度の概要、役割及び有益な取り組みへの理解を深め、両国の関係者間の相互交流を図ることを主目的として、本プログラムを実施しました。

【参加者】 ブルネイの行政官 計 22 名

【訪問地】 東京都、大阪府

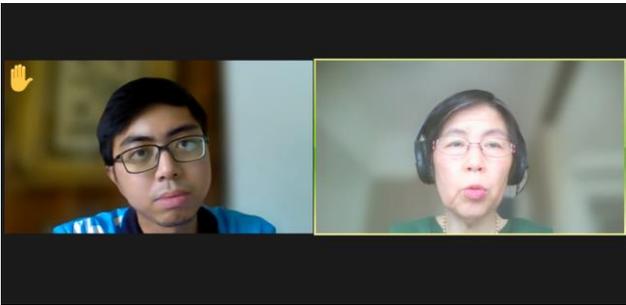
【日程】

日付 訪問地	内容	参加者の質問・反応
以下の参加人数：15名		
2021年 9月14日 東京都	<p>【自国レポート発表】 「ブルネイにおける車検制度の取り組みと課題」 発表者：ノルムハンマド イクラル ビン アブドゥル ハミード氏</p> <p>【ウェビナー・質疑応答】 講師：国土交通省自動車局 技術・環境政策課 国際業務室 秋葉 優耶氏</p> <p>1. 講義 2. 質疑応答</p>	<p>ブルネイの代表者より、自国の車検制度の現状、取り組み、課題等についてプレゼンテーションが行われ、ブルネイの参加者自身も真剣に耳を傾けていました。</p> <p>講義では、日本の安全基準や定期点検の項目の他、検査場で使用する設備の要件等、自国の状況と照らし合わせた質問が多数ありました。</p>
以下5日間の参加人数：7名（以下のプログラムは他のプログラムと合同で実施）		
2022年 1月22日 ～	<p>【動画視聴】</p> <p>1. 外務省挨拶 2. 愛知の魅力～産業、最先端技術～ 3. ホストタウンの取り組み</p>	<p>プログラムへの理解を深めるため、参加者は日本やプログラムに関する動画を視聴してから参加しました。</p>
2022年 1月25日 東京都	<p>【ウェビナー・質疑応答】</p> <p>1. 自己紹介（グループ別） 2. 日本理解講義・質疑応答 「Japan Today」</p>	<p>最初に自己紹介をしたことで和やかな雰囲気が出来ました。日本理解講義では、「人口が東京に集中している現状に対して、政府はどのような対策を講じているか」「日本</p>

	<p>講師：SIMA 国際経営研究所 所長 木村 秀夫氏</p> <p>3. グループ別交流</p>	<p>では、どのような技術を利用して廃棄物からエネルギーを生み出しているか「日本の高齢化社会に対する日本の政策について教えてほしい」など多くの質問がありました。参加者から講義内容に対してポジティブな意見があり、初日としてよいスタートでした。グループ別交流では、リーダー、サブリーダーを選出しました。</p>
<p>2022年 1月26日 大阪府</p>	<p>【ウェビナー、質疑応答、交流】</p> <p>1. 講義：「車検制度の紹介」 講師：国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局 検査・整備・保安部門 主席陸運技術専門官 若林 朝人氏</p> <p>2. 講義：「車検検査の紹介」 講師：独立行政法人自動車技術総合機構 近畿検査部検査課 課長 竹内弘明氏、主席自動車検査官 東田 圭右氏</p> <p>3. 参加者交流（質疑応答、親睦交流）</p>	<p>講義中にもチャットで質問をするなど、参加者の関心が高い講義でした。質問では、「EV車の検査では検査方法や工程は変わるか」「検査不合格の場合はどうなるか」「検査結果など電子化されたデータは警察や政府などと共有されているか」「下回り検査で、人の手や目視で行なうのではなく、カメラでスキャンするような検査方法についてどう思うか。正しく評価できるのか」など、その場や後日書面等で講師が回答するなどしてインタラクティブな講義になりました。講義の後も、「今回の講義のように、日本から学ぶ点が多い」といった意見が参加者から聞かれました。</p>
<p>2022年 1月27日 東京都</p>	<p>【ウェビナー・質疑応答】</p> <p>1. 講義：「日本の自動車産業におけるカーボンニュートラルへの取り組み」 講師：一般社団法人 日本自動車工業会 安全・環境領域長 岡 紳一郎氏</p> <p>2. 質疑応答</p>	<p>日本の基幹産業に関する講義であり、世界共通の課題である環境問題への取り組みを説明する内容ということもあり、初めから参加者の期待感が高い様子でした。講義資料で示されたデータ量の多さに圧倒されたという声とともに、自国でも取り組むべき重要な課題であると多くの参加者が再認識していました。自動車産業の動向に高い関心を寄せているようで、質疑応答では多数の質問がありました。主なものは下記の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 自動車業界が新型コロナウイルス感染症の影響で受けた打撃は何か（特に部品不足、原材料の高騰による代替品の使用など）。 - 2050年カーボンニュートラル実現を目

		<p>指すにあたり、従来型の自動車は電気自動車やプラグインハイブリッド車などと完全に置き換わることになるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 通常の自動車に比べ、電気自動車は高価だが、日本での使用率はどのくらいか。充電施設はどれくらい充実しているか。
2022年 1月31日 東京都	<p>【ワークショップ、報告会】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アクション・プランの策定 2. プレゼンテーション 3. 講評 <p>SIMA 国際経営研究所 所長 木村秀夫氏</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 記念撮影 	<p>プログラム全体を通して得た学びから、プログラム後3か月以内に実施するアクション・プランを策定し、プレゼンテーションを行いました。</p>

2. 記録写真

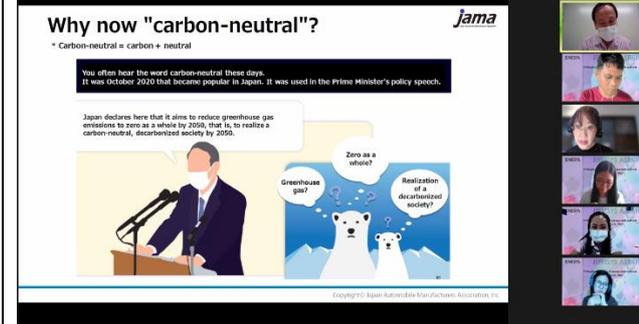
	
2021年9月14日【ウェビナー・質疑応答】講師へ質問をする参加者	2021年9月14日【ウェビナー・質疑応答】講師へ質問をする参加者
	
2021年9月14日【ウェビナー・質疑応答】講師へ質問をする参加者	2021年9月14日【ウェビナー・質疑応答】集合写真



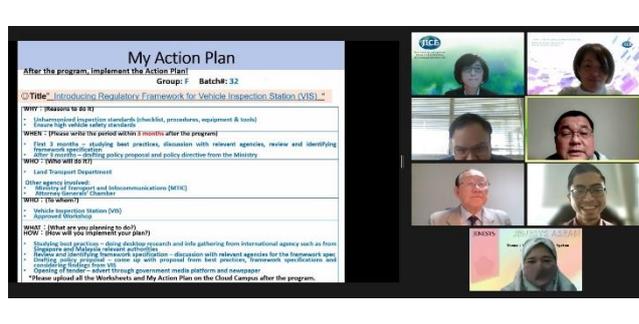
2022年1月25日【ウェビナー・質疑応答】講義の様子



2022年1月26日【ウェビナー・質疑応答、交流】講義の様子



2022年1月27日【ウェビナー・質疑応答】「日本の自動車産業におけるカーボンニュートラルへの取り組み」講義中の様子



2022年1月30日【ワークショップ、報告会】プレゼンテーションの様子



2022年1月30日【ワークショップ、報告会】集合写真

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 参加社会人

非常に有益な情報が得られました。プログラム時間はあっという間に過ぎ、ディスカッションや質疑応答の時間が足りないほどでした。

◆ 参加社会人

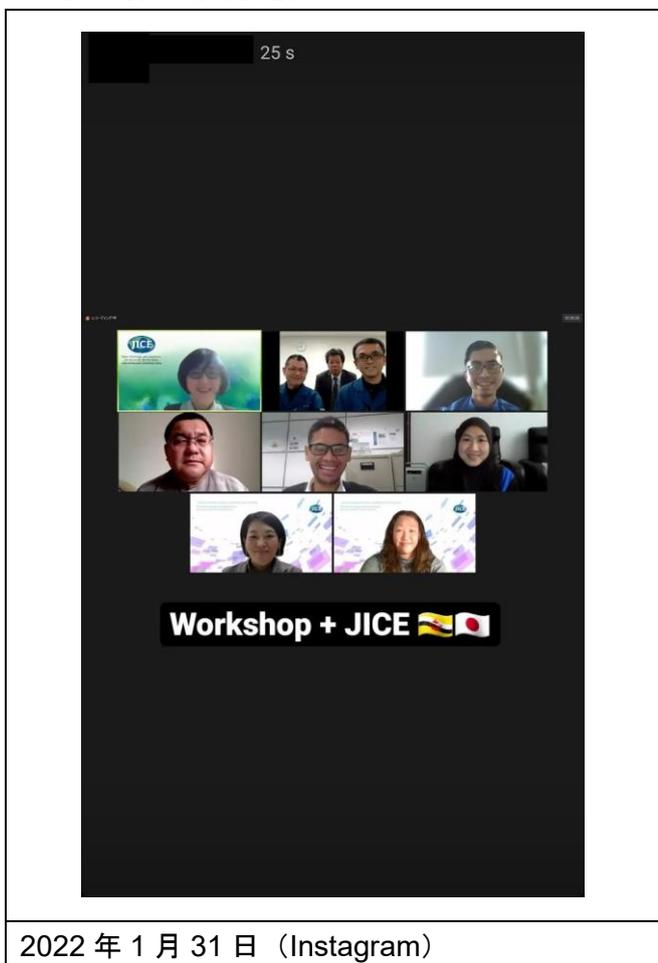
このオンラインプログラムで、日本における車検についてより良く理解することができました。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 講師

参加者からたくさんの質問があり、すべてに答えることができず申し訳なかったです。次回は、もう少し質疑応答の時間を長く設けたいと思います。

5. 参加者の対外発信



2022年1月31日（Instagram）

6. 最終報告会でのアクション・プランの発表

グループ 1	
<div data-bbox="161 770 683 1158" data-label="Complex-Block"> <p style="text-align: center;">My Action Plan</p> <p>After the program, implement the Action Plan! Group: F Batch#: 32</p> <p>© Title: Introducing Regulatory Framework for Vehicle Inspection Station (VIS) *</p> <p>WHY : (Reasons to do it)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Unharmonized inspection standards (checklist, procedures, equipment & tools) • Haven't established regulation on VIS yet • Ensure high vehicle safety standards <p>WHEN : (Please write the period within 3 months after the program)</p> <ul style="list-style-type: none"> • First 3 months – studying best practices, discussion with relevant agencies, review and identifying framework specification • After 3 months – drafting policy proposal and policy directive from the Ministry <p>WHO : (Who will do it?)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Land Transport Department Other agency involved: <ul style="list-style-type: none"> • Ministry of Transport and Infocommunications (MTC) • Attorney General's Chamber <p>WHO : (To whom?)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Vehicle Inspection Station (VIS) • Approved Workshop <p>WHAT : (How are you planning to do?)</p> <p>HOW : (How will you implement your plan?)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Studying best practices – doing desktop research and info gathering from international agency such as from Singapore and Malaysia relevant authorities • Review and identifying framework specification – discussion with relevant agencies for the framework spec • Drafting policy proposal – come up with proposal from best practices, framework specifications and considering findings from VIS • Opening of tender – advert through government media platform and newspaper </div>	<p style="text-align: center;">「車検制度の紹介」</p> <p>■ 実施理由 :</p> <ul style="list-style-type: none"> - 検査基準（チェックリスト、手順、機器・工具）が統一されていない - 車検の制度が未確立である - 高い自動車安全基準の確保 <p>■ 実施時期 :</p> <ul style="list-style-type: none"> - 最初の 3 か月 : ベスト・プラクティスの研究、関連機関との議論、枠組みの検討と特定 - 3 か月後 : 政策提案書作成、省からの政策指示書作成 <p>■ 実施する者 :</p> <ul style="list-style-type: none"> - 陸運部 - その他関係機関（交通情報省（MTIC）、司法長官室） <p>■ ターゲット :</p> <ul style="list-style-type: none"> - 自動車検査所（VIS） - 認可工場 <p>■ 実施計画、実施方法 :</p> <ul style="list-style-type: none"> - ベスト・プラクティスの研究 - シンガポールやマレーシアの関連当局をはじめとする国際機関からのデスクトップ・リサーチや情報収集を行う。 - 枠組み設定の検討と特定 - 枠組み設定について関連機関と議論する。 - 政策提案書の作成 - ベスト・プラクティス、枠組み設定、車検専門家の知見を用いた提案書を作成する。 - 入札開始 - 政府の SNS や新聞を通じた広告の掲載

グループ 2

「電気自動車の車検について」

■ 実施理由：

- 電気自動車の車検について知る
- 電気自動車の検査基準

■ 実施時期：

- 最初の 3 か月：ベスト・プラクティスを研究し、関連機関と議論する
- 3 か月後：自動車検査所（VIS）に電気自動車検査の必要性を伝え、技術者のスキル、知識、車検手順を改善する

■ 実施する者：

- 陸運部
- その他の関係機関（電気自動車共同部（EVJTF）（ブルネイにおける電気自動車の導入を監視する部隊））

■ ターゲット：

- 自動車検査所（VIS）
- 認可工場

■ 実施計画、実施方法：

- ベスト・プラクティスの研究 – デスクトップ・リサーチと国際機関からの情報を収集する。
- 電気自動車の車検要件を検討・特定 - 関係機関と協議する。
- 政策提案書の作成 – ベスト・プラクティスから提案書を作成し、自動車検査所から得た知見を検討する。
- 入札開始 – 政府の SNS や新聞を通じた広告の掲載

My Action Plan	
After the program, implement the Action Plan!	
Group: F Batch#: 32	
◎ Title "Vehicle Inspection Station (VIS) inspection for Electric Vehicle"	
WHY : (Reasons to do it)	<ul style="list-style-type: none"> • To know the inspection for Electric Vehicle. • Inspection standard for Electric Vehicle.
WHEN : (Please write the period within 3 months after the program)	<ul style="list-style-type: none"> • First 3 months – Studying best practices, discussion with relevant agencies. • After 3 months – Informing VIS the requirement of EV inspection, upgrading of technician skills and knowledge, upgrading the inspection test procedures.
WHO : (Who will do it?)	<ul style="list-style-type: none"> • Land Transport Department
Other agency involved:	<ul style="list-style-type: none"> • Electric Vehicle Joint Taskforce (EVJTF) • EVJTF is a taskforce monitoring the implementation of EV in Brunel.
WHO : (To whom?)	<ul style="list-style-type: none"> • Vehicle Inspection Station (VIS) • Approved Workshop
WHAT : (What are you planning to do?)	<ul style="list-style-type: none"> • Studying best practices – doing desktop research and info gathering from International agency • Review and identifying EV VIS requirements – discussion with relevant agencies • Drafting policy proposal – come up with proposal from best practices and considering findings from VIS • Opening of tender – advert through government media platform and newspaper

グループ 3

「自動車検査所の整合性」

My Action Plan	
After the program, implement the Action Plan!	
Group: F Batch#: _____	
◎ Title* Vehicle Inspection Station Compliancy**	
WHY : (Reasons to do it)	Incompliance to test procedure and guideline.
WHEN : (Please write the period within 3 months after the program)	Q1 2022: Unscheduled inspection of vehicle inspection stations.
WHO : (Who will do it?)	Land Transport Department and Ministry of Transport and Info-communication.
WHO : (To whom?)	Vehicle Inspection Stations.
WHAT : (What are you planning to do?)	HOW : (How will you implement your plan?)
Inspection of vehicle inspection stations by relevant authorities and enforcement agencies to make sure these stations complied with the current regulation, test procedure, and guideline.	

- 実施理由：
検査手順とガイドラインの不適合
- 実施時期：
2022 年第 1 四半期：自動車検査所の不定期検査
- 実施する者：
陸運部、交通情報省（MTIC）
- ターゲット：
自動車検査所
- 実施計画、実施方法：
関係当局と執行機関による自動車検査所の抜き打ち検査で、これらの検査所が現行の規制、検査手順、ガイドラインを遵守していることを確認する。

グループ 4

「自動車検査所の統一」

My Action Plan	
After the program, implement the Action Plan!	
Group: F Batch#: _____	
◎ Title* Harmonisation of Vehicle Inspection Station (VIS) Procedures	
WHY : (Reasons to do it)	Tools and machines at VIS is currently not harmonise to each other
WHEN : (Please write the period within 3 months after the program)	<ul style="list-style-type: none"> • First 3 months – Inspection and inquiring to VIS on the availability of tools and machines • After 3 months, VIS to complete the tools and machines.
WHO : (Who will do it?)	• Land Transport Department
WHO : (To whom?)	• Vehicle Inspection Station (VIS)
WHAT : (What are you planning to do?)	HOW : (How will you implement your plan?)
<ul style="list-style-type: none"> • First 3 months – Inspection and inquiring to VIS on the availability of tools and machines • After 3 months – VIS to complete the tools and machines. 	

- 実施理由：
現状、自動車検査所の工具や機械は互いに整合性がない
- 実施時期：
 - 最初の 3 か月：自動車検査所に対する工具や機械の在庫についての検査と調査
 - 3 か月後：工具や機械を自動車検査所に揃える
- 実施する者：
陸運部
- ターゲット：
自動車検査所（VIS）
- 実施計画、実施方法：
 - 最初の 3 か月：自動車検査所に対する工具や機械の在庫についての検査と調査
 - 3 か月後：工具や機械を自動車検査所に揃える

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）